



# 校長室だより 4

丸亀市立綾歌中学校  
平成 29 年 7 月 7 日

## PTA 人権・同和教育講演会

6月28日(水) PTA人権・同和教育講演会が開催されました。講師は、岡山県立盲学校の元教頭先生である、竹内昌彦先生です。

「私の歩んだ道—見えないから見えたもの—」という演題で、約90分、話をしてくださいました。「幼少の頃、目が見えにくいということで、いじめられ、それに立ち向かったこと。」「小学校2年生からは、担任の先生の配慮により、クラスみんなが助けてくれるようになったこと。」「高校時代、自分を認めてくれた経験から、教師の道に進むようになったこと。」など、ユーモアをまじえながら、感動あふれる話を聞かせていただきました。

私が1番印象に残ったのは、「自分の命は自分だけのものではない。」という話です。竹内先生の本「見えないから見えたもの」から引用して、載せます。



みんなは自分の命を、自分一人のものと思うとるんじゃないか。それは間違いだぞ。みんなの親は、今すぐこの場所で、我が子の身代わりで死ねと言われたら、親はいつでも子どものためなら死ねる。親はそんな思いで、みんなを大きくしているのを知らんのか。みんなは、自分の命とお父さんの命とお母さんの命と三人分の命を抱えて、今大きくなりよんぞ。それなのに自分だけの考えで、死んでしもうたら、みんなの親は、その後どうやって生きていったらええんなら。生きていく気力を、なくしてしまうかも知れんぞ。どんなに悲しむか考えてみる。これから大人になるまで、いいや大人になってからも、かならず死にたいと思うほどつらい事が、何度でもやってくる。それでも、何があっても、絶対に死んではいかん。死ぬのはいつでもできるんじゃないから、それは最後にとっておけ。人間死ぬ気になったら何でもできる。死ぬ前に、竹内流にやってみる。

最後に、生徒のみなさんの感想をいくつか紹介します。



「人を見た目で判断しない」その言葉が心に残っています。ぼくは、人を見た目で判断してしまうことが多いので、これから気を付けて、しっかりと中身を見ていきたいです。また、困っている人がいたら、勇気を出して手助けをしていけるようにします。まわりの人々にとって、ぼくが頼れる存在に、立派な人間になれるように、がんばっていききたいと思います。



どんな人にもやさしく、笑顔で接することができる人が増えていったら、みんなが幸せになるのかなと感じました。自分の命は自分だけのものではない、両親、祖父母・・・と何年も続いて生まれてきたのだと思います。だからこそ、生きなければ、生きたい、と私は思いました。今、苦しくてつらくても、死にたいと思わずに、次、楽しいことがある、がんばろう、と思いながら人生を楽しみたいです。また、やさしい心を忘れず生きたいです。